

## インフルエンザによる学級・学年閉鎖について

今シーズン（令和5年9月4日以降）初めて、市立小・中学校においてインフルエンザによる学級閉鎖等の報告がありましたので、感染予防・注意喚起の観点から、お知らせします。

### 1 令和5年9月4日以降、学級閉鎖等を実施している市立小・中学校

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
学級閉鎖	1校 1学級	4校 8学級	3校 4学級	1校 1学級	1校 1学級	3校 5学級	13校 20学級
学年閉鎖						2校 3学年	2校 3学年

※上記のうち、花見川区の1校は中学校。そのほかはすべて小学校。

### 2 学級閉鎖等校数の推移

	7月3日 ～7日	7月10日 ～14日	8月28日 ～9月1日	9月4日～8日
学級閉鎖校数		4校	1校	13校
学年閉鎖校数				2校
シーズン	2022-2023			2023-2024

※7月15日～8月27日は夏休み期間

### 3 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数

	本年32週 (8月7～13日)	本年33週 (8月14～20日)	本年34週 (8月21～27日)	本年35週 (8月28～9月3日)
定点あたり 報告数※	1.23	0.68	1.79	5.39

※国が流行開始の目安としているのは、定点あたり1.00です。

※国が定める流行発生注意報基準値は、定点あたり1.0です。

### 4 市民への注意喚起

市ホームページ掲載（「インフルエンザを予防しましょう」）

【URL】 [https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/influenza\\_prevention.html](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/influenza_prevention.html)



5 施設別学級閉鎖等状況一覧（小学校12校、中学校1校）

施設 (所在地)	学年	学級 在籍者数	欠席者数	閉鎖期間
市立小学校 (中央区内)	2年生	35人	17人	9月5～7日
市立小学校 (花見川区内)	1年生	29人	8人	9月5～7日
	2年生	34人	20人	9月5～7日
	3年生	33人	3人	9月5～7日
	4年生	32人	9人	9月5～7日
	6年生	32人	8人	9月5～7日
市立小学校 (花見川区内)	4年生	34人	10人	9月5～7日
市立小学校 (花見川区内)	4年生	35人	15人	9月5～7日
市立中学校 (花見川区内)	1年生	35人	5人	9月5～6日
市立小学校 (稲毛区内)	2年生	29人	8人	9月5～6日
市立小学校 (稲毛区内)	3年生	33人	5人	9月5～7日
市立小学校 (稲毛区内)	3年生	31人	6人	9月5～8日
	4年生	28人	7人	9月5～8日
市立小学校 (若葉区内)	2年生	28人	8人	9月5～7日
市立小学校 (緑区内)	3年生	26人	9人	9月6～8日
市立小学校 (美浜区内)	3年生	33人	13人	9月5～7日
市立小学校 (美浜区内)	1年生 (学年閉鎖)	65人	15人	9月5～7日
	2年生 (学年閉鎖)	69人	12人	9月5～7日
	4年生	28人	5人	9月5～7日
市立小学校 (美浜区内)	1年生 (学年閉鎖)	63人	16人	9月5～7日
	2年生	30人	6人	9月5～7日
	3年生	33人	7人	9月5～7日
	3年生	34人	8人	9月5～7日

※欠席者数は、インフルエンザ様症状が原因で欠席した者の数

## インフルエンザについて

## 1 インフルエンザとは？

インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。

小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を併発する等、重症になることがあります。

## 2 インフルエンザの予防方法は？

## ① 帰宅時の手洗い

手洗いは、かぜの予防と併せておすすめします。

## ② 外出時のマスクの利用

インフルエンザにかかっている人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染するため、マスクの着用が有効です。

また、インフルエンザにかかってしまった方で、咳やくしゃみなどの症状のある方は特に、周囲への感染拡大を防止する意味から、マスクの着用が推奨されます。

## ③ 人混みや繁華街への外出を控える

特に高齢者や慢性疾患を持っている人は、感染したときに重症化する可能性が高くなります。

## ④ 室内では、加湿器などを使ったりして適度な湿度（50～60%）を保つ

空気が乾燥すると、咽頭粘膜のウイルス粒子に対する物理的な防御機能が低下するため、インフルエンザに感染しやすくなります。

## ⑤ 十分な睡眠及び休養をとり、バランスのよい食事をとること

日頃から、自己の免疫力を高めておくことも重要な予防策の一つです。

## ⑥ 予防接種を受ける

ワクチンにはインフルエンザの発症をある程度おさえる効果や、重症化を防ぐ一定の効果が期待できます。

## 「咳エチケット」

- 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1 m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。